

2014 年 環境活動目標・実績の取組結果とその評価

2014 年 12 月 26 日 環境管理責任者 白井 佳子

	目 標	結 果	実 施 状 況	評 価	原 因	改 善 策
地球温暖化防止の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気使用量 2013 年実績を維持 電灯 9,199kWh エアコン 5,678kWh 合計 14,877kWh</li> <li>ガソリン使用量 2013 年実績を維持 825L</li> <li>二酸化炭素排出量 9,591.9kg-CO<sub>2</sub> (2013 年実績)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気使用量実績 2013 年比 3.4%増 電灯 9,418kWh エアコン 5,963kWh 合計 15,381kWh</li> <li>ガソリン使用量実績 2013 年比 10%減 741L</li> <li>二酸化炭素排出量実績 2013 年実績より 0.6%増 9,656.9kg-CO<sub>2</sub></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調設定の効率化及び温度設定の徹底(夏 28℃/冬 21℃)</li> <li>昼休み(12:00~13:00)事務所内消灯の徹底</li> <li>クールビズの早期開始・終了延長(5/16~10/15)</li> <li>週休 2 日制導入</li> <li>効率の良いルートでの外出・関与先訪問の徹底</li> <li>自動集金率向上により訪問集金が減少(全体の 7 割)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>クールビズを延長することにより、職員の夏期電気使用量減少に対する意識を維持できた</li> <li>1・2 月は積雪量も多く気温が平年より低く空調使用量が増加</li> <li>効率の良いルートでの関与先訪問エコ運転への意識向上</li> <li>節電の意識は継続するものの、冬の空調使用量増加により、二酸化炭素も増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クールビズの推進・延長</li> <li>屋内・屋外の気温測定</li> <li>空調温度の管理の再徹底(夏 28℃/冬 21℃)</li> <li>業務効率化をはかり使用量削減を目指す</li> <li>6 月~12 月は月 2 回のノ残業デーを実施</li> <li>効率的なルートで外出・関与先訪問を心掛ける</li> <li>再認識したエコ運転を実践していく</li> </ul>
地球資源の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物量 2013 年比 1%減 処分 229.0kg リサイクル 230.0kg 合計 459kg</li> <li>紙使用量 2013 年比 1%減 304kg</li> <li>水使用量 2013 年実績 81 m<sup>3</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物量実績 2013 年比 1%増 処分 150.5kg リサイクル 320.0kg 合計 470.5kg</li> <li>紙使用量実績 2013 年比 6.5%増 327.0kg</li> <li>水使用量 2013 年比 12%増 91 m<sup>3</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源ゴミ買取業者を利用しそれにより資源ゴミ分別の徹底</li> <li>粉茶を使用し生ゴミを減少</li> <li>電子申告強化により、郵送・紙での申告を、さらに減少。</li> <li>両面コピーや裏紙使用の徹底</li> <li>不要なプリントアウトを自粛</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子申告強化となり、紙・封筒使用量減少</li> <li>不要な紙類も極力シュレッダーを利用、古紙として分別</li> <li>機密的な資料が多く、また保存の為にコピーすることが多いため、現状維持としていきたい</li> <li>水使用量増加要因のひとつは、女子職員増加が考えられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不要な紙類は、シュレッダーを利用して古紙として分別資源ゴミへ</li> <li>不要な DM などの返却・拒否</li> <li>生ゴミ削減のため粉茶を使用</li> <li>ペーパーレス業務の推進</li> <li>不要なプリントアウトを自粛</li> <li>裏紙使用・両面コピー再徹底</li> </ul>
環境意識向上と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページにてエコアクションの情報を発信</li> <li>外部講師を招き環境について勉強会を開催し内容を発信</li> <li>グリーン商品購入の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きなテーマだったが、職員個人の目線で、分かりやすい内容で発信できた</li> <li>講師の都合が付かず延期</li> <li>グリーン商品購入金額の割合 月平均 65%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最近の気候変動の現実に目をむけて、日常の中で個人のできる事を考えた</li> <li>意識してグリーンマークを購入するようにしている</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年災害が多く発生しているように思い、気候変動が関係していると考えられている、日常の中での変化を発見しようと考えた</li> <li>購入先業者が毎月購入実績を知らせてくれるサービスを利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページをさらに活用し環境情報を発信していく</li> <li>全員参加を目標とする</li> <li>今後もこのような環境を考えたサービスを活用していきたい</li> </ul>

平成 24 年度中部電力の実排出係数 0.516 kg-CO<sub>2</sub>/kWh を適用 (平成 25 年 12 月 19 日 環境省公表)